MELSEC-Q/QnA/Aシリーズ用
簡易ダウンロード ソフトウェアパッケージ

AutoLoader 実行ツール

形名
ELDR1C-OPWJ

オペレーティングマニュアル(日本語版)

ELDR1C-OPWJ

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連するマニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

なお，本マニュアルで示す注意事項は，本製品に関するもののみについて記載したものです。シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては，CPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この●安全上のご注意●では，安全注意事項のランクを「危険」，「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【設計上の注意事項】

⚠危険
● パソコンから運転中のシーケンサに対するデータ変更，プログラム変更，状態制御は常にシステム全体が安全側に働くようにシーケンサシステムの外部でインタロック回路を構成してください。 また，パソコンからシーケンサCPUへのオンライン操作において，ケーブルの接続不良などによる交信異常発生時のシステムとしての処置方法を取り決めておいてください。

【立ち上げ・保守時の注意事項】

⚠注意
● パソコンを運転中のシーケンサCPUに接続して行うオンライン操作(AutoLoader実行ファイル，および，ロールバック用実行ファイルの実行)については，シーケンサ，関連製品，および，本製品のマニュアルを熟読し十分に安全を確認の上実施してください。

改 定 履 歴

※取扱説明書番号は，本マニュアルの裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※取扱説明書番号	改　定　内　容
2007年12月	50EM8740-A	初版印刷
2010年4月	50EM8740-B	機種追加 ユニバーサルモデルQCPU Q00UJCPU，Q00UCPU，Q01UCPU，Q02UCPU，Q03UDCPU/Q03UDECPU， Q04UDHCPU/Q04UDEHCPU，Q06UDHCPU/Q06UDEHCPU，Q10UDHCPU/Q10UDEHCPU， Q13UDHCPU/Q13UDEHCPU，Q20UDHCPU/Q20UDEHCPU，Q26UDHCPU/Q26UDEHCPU 一部追加 ご注意，総称・略称について，1.1節，2章，4.3節，7章 一部変更 3.1節，6章

本マニュアルによって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また
本マニュアルの掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2007-2010 MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING CORPORATION

ご注意

■弊社が紹介するMicrosoft® Windows® 対応の市販ソフトウェア製品について，各製品に対する保証は致しませんので，ご了承願います。
■本製品のソフトウェアの著作権は，三菱電機メカトロニクスソフトウエア株式会社にあります。
■本マニュアルの内容の一部または全てを当社に断りなく，いかなる形でも転載または複製することは，固くお断りします。
■本マニュアルの記述内容は，ソフトウェア，ハードウェアの改訂に追従するよう努力しておりますが，やむなく同期できない場合も生じます。
■本製品（マニュアル含む）は，ソフトウェア使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。
本製品をインストールする前に，必ず添付ソフトウェア使用許諾同意書をお読みいただき，同意いただける場合のみ，本製品のインストールを行ってください。
■本製品のソフトウェアは，コンピュータ1台につき1ライセンスの購入が必要です。
■弊社の責に帰す事ができない事由から生じた損害，当社製品の故障に起因するお客様での機会損失，逸失利益，当社の予見の有無を問わず特別な事情から生じた損害，二次災害，事故補償，当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については当社は責任を負いかねますので，ご了承ください。
■本マニュアルに記載されている内容は，お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

ご注意

■『AutoLoader実行ツール』で実行する実行ファイルは，必ず同じバージョンの『AutoLoader設定ツール』で作成してください。異なるバージョンを誤って使用した時，動作を保証できません。

Microsoft，Windowsは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe，Acrobatは，Adobe Systems Incorporatedの登録商標です。
Ethernetは，米国Xerox.co.ltdの登録商標です。
その他，本文中における会社名，商品名は，各社の商標または登録商標です。

は　じ　め　に

このたびは，AutoLoaderをお買い上げいただきまことにありがとうございました。
ご使用前に本書をよくお読みいただき，AutoLoaderの機能・性能を十分ご理解のうえ，正しくご使用くださるようお願い致します。

目　　次

１　概　要　　１－１ ～ １－２

1.1　AutoLoader実行ツールの特長……１－１
1.2　機能一覧……１－２

２　システム構成　　２－１ ～ ２－３

2.1　製品構成……２－３
2.2　動作環境……２－３

３　インストール・アンインストール　　３－１ ～ ３－７

3.1　インストール……３－１
3.2　アプリケーションの起動確認……３－５
3.3　アンインストール……３－６

４　ダウンロード　　４－１ ～ ４－３

4.1　ダウンロードの処理フロー……４－１
4.2　メインウィンドウ……４－２
4.3　ダウンロードの実行手順……４－３

５　ロールバック　　５－１ ～ ５－２

5.1　ロールバック実行ファイル……５－１
5.2　メインウィンドウ……５－２
5.3　ロールバック後状態……５－２

６　アップロード　　６－１

6.1　アップロードデータファイル……６－１

７　ログファイル　　７－１ ～ ７－２

マニュアルについて

関連マニュアル

マニュアル名称	マニュアル番号
GX Developer Version8　オペレーティングマニュアル	SH-080356

総称・略称について

本マニュアルでは，ソフトウェアパッケージ，シーケンサCPUなどのユニットを次の総称・略称で表しています。

総称／略称	総称・略称の内容
設定ツール	AutoLoader設定ツールの略称。
実行ツール	AutoLoader実行ツールの略称。
Windowsパソコン	Windowsが動作するパソコンの略称。
パソコン	Windowsパソコンの略称。
MELSOFT	三菱FA統合ソフトウェアの総称。
GX Developer	製品形名SW8D5C-GPPW，SW8D5C-GPPW-A，SW8D5C-GPPW-V，SW8D5C-GPPW-VAの総称製品名。
ACPU	AnNCPU，AnACPU，AnUCPU，QCPU(Aモード)の総称。 (ただし，AutoLoaderではA1，A2，A3，A3H，A3M，A52G，A73，A0J2，A3V，モーションコントローラ(SCPU)はサポートしていません。)
AnNCPU	A0J2HCPU，A1SCPU，A1SCPUC24-R2，A1SHCPU，A1SJCPU，A1SJHCPU，A1NCPU，A1NCPUP21/R21，A2CCPU，A2CCPUC24，A2CCPUC24-PRF，A2CJCPU，A2NCPU，A2NCPUP21/R21，A2NCPU-S1，A2NCPUP21/R21-S1，A2SCPU，A2SHCPU，A3NCPU，A3NCPUP21/R21，A1FXCPUの総称。
AnACPU	A2ACPU，A2ACPU-S1，A3ACPU，A2ACPUP21/R21，A2ACPUP21/R21-S1，A3ACPUP21/R21の総称。
AnUCPU	A2UCPU，A2UCPU-S1，A3UCPU，A4UCPU，A2USCPU，A2USCPU-S1，A2USHCPU-S1の総称。
QnACPU	Q2ACPU，Q2ACPU-S1，Q2ASCPU，Q2ASCPU-S1，Q2ASHCPU，Q2ASHCPU-S1，Q3ACPU，Q4ACPUの総称。 (ただし，AutoLoaderではQ4ARCPUはサポートしていません。)
QCPU(Aモード)	Q02(H) CPU-A，Q06HCPU-Aの総称。
QCPU(Qモード)	ベーシックモデルQCPU，ハイパフォーマンスモデルQCPU，ユニバーサルモデルQCPU，プロセスCPU，二重化CPUの総称。（ただしAutoLoaderは二重化CPUには対応していません。）
ベーシックモデルQCPU	Q00JCPU，Q00CPU，Q01CPUの総称。
ハイパフォーマンスモデルQCPU	Q02(H)CPU，Q06HCPU，Q12HCPU，Q25HCPUの総称。
ユニバーサルモデルQCPU	Q00UJCPU，Q00UCPU，Q01UCPU，Q02UCPU，Q03UDCPU/Q03UDECPU，Q04UDHCPU/Q04UDEHCPU，Q06UDHCPU/Q06UDEHCPU，Q10UDHCPU/Q10UDEHCPU，Q13UDHCPU/Q13UDEHCPU，Q20UDHCPU/Q20UDEHCPU，Q26UDHCPU/Q26UDEHCPUの総称。
プロセスCPU	Q12PHCPU，Q25PHCPUの総称。
二重化CPU	Q12PRHCPU，Q25PRHCPUの総称。（ただしAutoLoaderは二重化CPUには対応していません。）
MELSECNET(Ⅱ)ボード	A70BD-J71AP23，A98BD-J71AP23形MELSECNET(Ⅱ)インタフェースボードの総称。
MELSECNET/10ボード	A70BD-J71QLP23，A70BD-J71QLP23G，A98BD-J71QLP23，A70BD-J71QBR13，A98BD-J71QBR13形MELSECNET/10インタフェースボードの略称。
CC-Linkボード	ECP-CL2BD形CompactPCI対応CC-Linkインタフェースボード， Q80BD-J61BT11(N)/Q81BD-J61BT11(N)形CC-Link Ver.2インタフェースボード， A80BD-J61BT11/A80BD-J61BT13形CC-Linkインタフェースボードの略称。
CC-Link IE ボード	Q80BD-J71GP21-SX/ Q80BD-J71GP21S-SX 形CC-Link IE コントローラネットワークインタフェースボードの総称。

1 概 要

AutoLoaderは，三菱FA統合ソフトウェアMELSOFTシリーズのシーケンサ設計・保守ツール GX Developerを使用せずに，パソコン上の簡単な操作でMELSECシーケンサ内のデータとの照合（PC照合）およびデータの書込（PC書込）を行うアプリケーションソフトウェアです。対応するシーケンサは，MELSEC-A，MELSEC-QnA，MELSEC-Qシリーズの各CPUです。

AutoLoaderは，次の２つのアプリケーションで構成します。

(1) AutoLoader設定ツール
- PC照合およびPC書込の対象となるGX Developerのプロジェクトデータと接続経路を選択して，ひとつの実行ファイルを生成します。
- 最大64台のネットワーク接続されたCPUもしくはマルチCPUに対する設定が可能で，PC照合およびPC書込の順序も指定できます。

(2) AutoLoader実行ツール
- AutoLoader設定ツールで生成した実行ファイルの実行により，複数のCPUに対して設定した順にPC照合およびPC書込を行います。
- PC書込前照合の実行結果が不一致の場合に，CPU内のデータを読み出して圧縮・保存します。
- PC書込完了後またはエラーによる中断後に，CPU内のデータをPC書込以前の状態に戻すことができます。
- PC照合およびPC書込の実行結果をログとして保存します。

1.1 AutoLoader実行ツールの特長

(1) 簡単操作

AutoLoader設定ツールで生成した実行ファイルをマウスによる簡単操作で，設定に基づきPC照合およびPC書込を行います。
PC書込の際はCPUをリモートSTOPし，PC書込が完了したあとに再びCPUをリモートRUNします。

(2) アップロード（PC読出）

CPU内のデータと実行ファイルに設定したPC書込前照合用データとの照合結果が不一致の場合に，CPU内のデータを読み出して，ログファイルと共にアップロードデータとして圧縮・保存します。このアップロードデータはAutoLoader設定ツールで解凍し，GX Developerのプロジェクトデータとテキスト形式のログファイルに変換することができます。

(3) ロールバック（復元）

PC書込完了後もしくはPC書込途中でエラーが発生した場合に，マウスによる簡単操作で，CPU内のデータをPC書込前の状態に戻すことができるロールバック実行ファイルを作成します。

(4) 実行履歴

AutoLoaderの実行結果をログファイルとして保存します。

ポイント

・『AutoLoader実行ツール』で実行する実行ファイルは，必ず同じバージョンの『AutoLoader設定ツール』で作成してください。異なるバージョンを誤って使用した時，動作を保証できません。

・CPU内に124本を超えるプログラムがあるときは，CPUからプログラムの読み出しができないため，ロールバック用実行ファイル・アップロードデータは作成できません。
「現在のプロジェクトに、これ以上プログラムを追加することはできません。不要なプログラムを削除してから再度実行してください。」というメッセージが表示されてダウンロードが実行できなかった場合は，メッセージに従って不要なプログラムを削除してください。

1.2 機能一覧

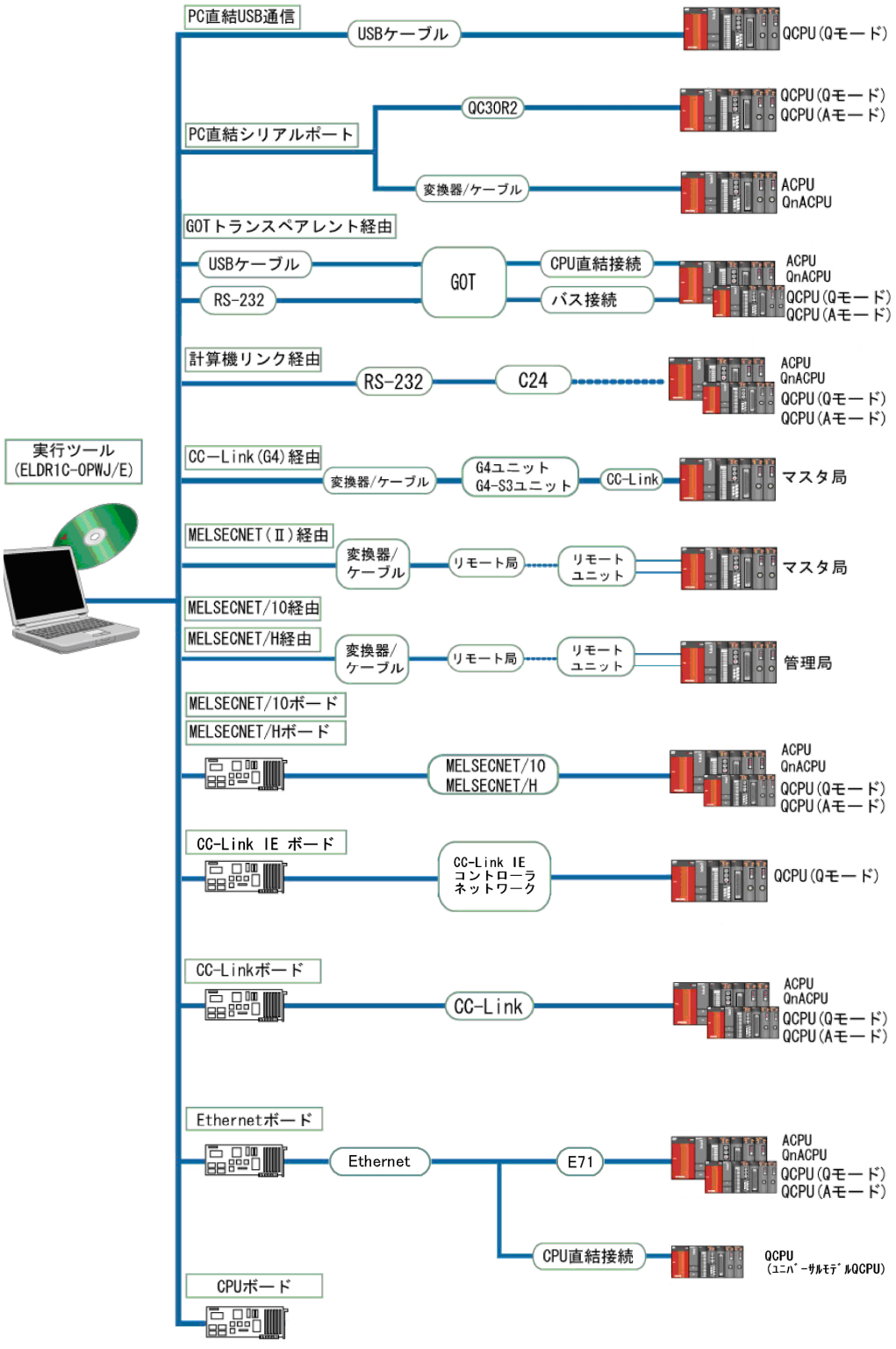
本製品には，次の機能があります。

機　　能	内　　容
ダウンロード (PC書込前照合)	実行ファイルにPC照合を設定すると，PC書込を行う前に，CPU内のデータと実行ファイルに設定したPC書込前照合用データを照合します。
ダウンロード (PC書込)	PC書込前照合の結果が一致，またはPC書込前照合を指定しない場合，実行ファイルに設定したPC書込データを，指定したCPUに指定した接続経路で接続して，設定した内容に基づき書き込みます。 PC書込前照合の結果が不一致の場合，PC書込は実行しません。 PC書込時はCPUをリモートSTOPした後に，書込を実行します。書込が完了したあとに再びCPUをリモートRUNします。注1)，注2)
アップロード (アップロードデータファイル作成)	PC書込前照合の結果が不一致の場合，CPU内のデータを読み出し，ログファイルと共にデータを圧縮して，アップロードデータファイルとして保存します。
ロールバック機能	PC書込完了後，またはPC書込途中でエラーが発生した場合，CPU内のデータを簡単な操作でPC書込前の状態に戻すことができる「ロールバック実行ファイル」を作成します。 注2)
ログファイル作成	実行ファイル，ロールバック実行ファイルの実行結果をテキスト形式のログファイルとして保存します。

注1) RUN中書込みは行いません。
注2) パラメータの書込を行った場合は，変更内容を有効にするためにCPUのリセットが必要となります。

2　システム構成

本ツールのシステム構成を以下に示します。



AutoLoaderで選択可能な接続経路は，次頁の接続経路以外，GX Developerと同じです。

(未サポートの接続経路)

パソコン側インタフェース	対象ユニット
モデム	A6TEL Q6TEL シリアルコミュニケーションユニット
MELSECNET(Ⅱ)ボード	A70BD-J71AP23 A98BD-J71AP23
AFボード	A70BD-AF
パソコンCPUユニット	—
MELSECNET/H リモートI/Oユニット　*1	QJ72LP25 QJ72BR15

*1 リモートI/O局のパラメータ設定のみ未サポートです。
　リモートI/O局を経由して他のCPUにアクセスすることは可能です。

2.1 製品構成

本ツールの製品構成について説明します。

品名	形名	数量	備考
AutoLoader実行ツールソフトウェア (日本語版)	ELDR1C-OPWJ	1	CD-ROM　1枚に収納 (日本語版＋英語版)
AutoLoader実行ツールソフトウェア (英語版)	ELDR1C-OPWE	1	
オペレーティングマニュアル	―	1	・本マニュアル和文（A4サイズ） ・CD-ROM内にPDFで収納
ソフトウェア使用許諾同意書	―	1	―

2.2 動作環境

本ツールの動作環境を以下に示します。

項　目	内　容
コンピュータ本体	下記基本ソフトウェアが動作するパーソナルコンピュータ
ＣＰＵ	Microsoft® Windows® 2000　Pentium® 133MHz以上 Microsoft® Windows® XP　Pentium® 300MHz以上 Microsoft® Windows® Vista　Pentium® 1GHz以上
メモリ	Microsoft® Windows® 2000　64MB以上 Microsoft® Windows® XP　128MB以上 Microsoft® Windows® Vista　1GB以上
ハードディスク 空き容量	200MB以上　(※2)
ディスクドライブ	CD-ROMディスクドライブ
ディスプレイ	解像度800×600ドット以上　(※3)
通信用インタフェース	RS-232Cポート，USBポート，Ethernetポート
基本ソフトウェア (※1)(※4)	■AutoLoader実行ツール（日本語版）ELDR1C-OPWJ Microsoft® Windows® 2000 Professional（日本語版） Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition（日本語版） Microsoft® Windows® Vista Home/Basic,Home/Premium/Ultimate/ Business/Enterprise　（日本語版） ■AutoLoader実行ツール（英語版）ELDR1C-OPWE Microsoft® Windows® 2000 Professional（英語版） Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition（英語版） Microsoft® Windows® Vista Home/Basic,Home/Premium/Ultimate/ Business/Enterprise　(英語版)

※1　日本語版は日本語OSのみ，英語版は英語OSのみをサポートしています。
※2　Microsoft® Windows® Vista 使用時は，最低15GBの空き容量が必要である。
※3　Microsoft® Windows® Vista 使用時は，解像度1024×768ドット以上を推奨。
※4　Microsoft® Windows® XP/Vista 使用時は，以下の制約がある。
①交互モードへは対応しない。
②ユーザの簡易切り替え機能への対応はしない。
③大きいフォントへは対応しない。
④リモートディスクトップへの対応はしない。

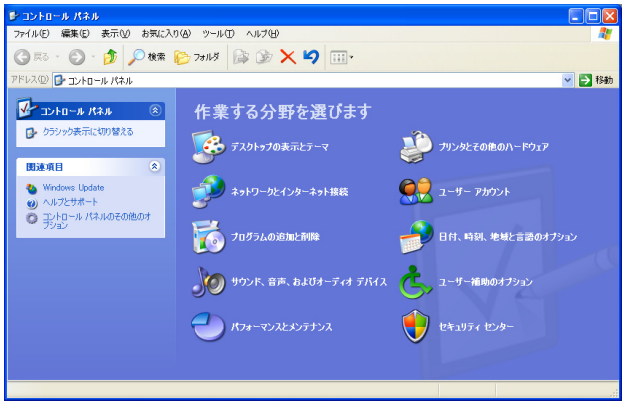
ポイント

パソコンのレジューム機能，サスペンド設定，省電力設定，スタンバイモードを設定して，CPUと交信すると，交信エラーが発生することがあります。CPUと交信する場合(ダウンロード，アップロード，ロールバックなど)は，上記の設定を行わないでください。

3　インストール・アンインストール

3.1　インストール

本ツールのインストールは，次の手順で行ってください。



1．インストーラの起動

(1) コントロールパネルからインストールする場合

(a) コントロールパネルの“プログラムの追加と削除”を実行します。

(b) “プログラムの追加”を選択します。

(c) インストールCDを挿入して，“CDまたはフロッピー”を選びます。

コントロールパネルは[スタートメニュー]-[すべてのプログラム]-[コントロールパネル]の順に選択します。

※使用する基本ソフトウェア，およびその設定内容によりコントロールパネルの表示は異なります。(Windows® Vista使用時は、コントロールパネルからはインストールできません。(2)の方法でインストールしてください。)

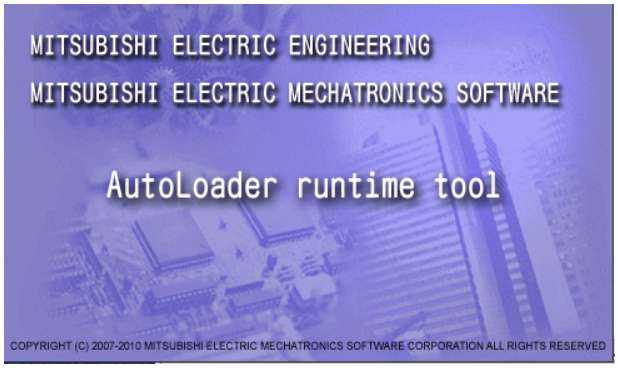
(2) 直接インストーラを起動する場合

インストールCD-ROMの“SETUP.EXE”を実行します。

日本語版の"SETUP.EXE"は"Japanese"フォルダ，英語版の"SETUP.EXE"は"English"フォルダの中にあります。

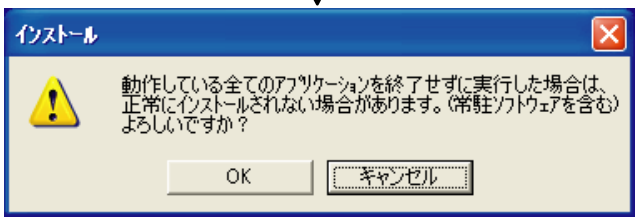
〈実行ツール〉（日本語版）

（英語版）



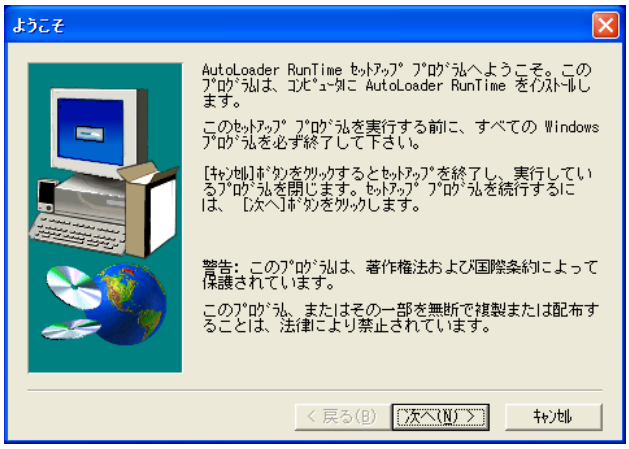
次ページへ

前ページから



2. インストーラが起動すると左記の画面が表示されますので，すべてのアプリケーションが終了していることを確認して OK ボタンをクリックします。
他のアプリケーションが動作している場合は，全て終了してください。

左記画面が表示された場合、本製品CD-ROM内の"EnvMSWS"フォルダ内にあるSETUP.EXEを実行してください。作業が終了したら、再度インストールを行ってください。

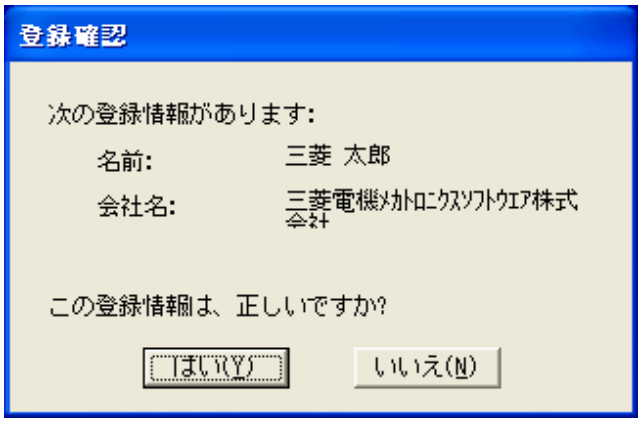


3. 内容を確認して次へ(N)ボタンをクリックします。

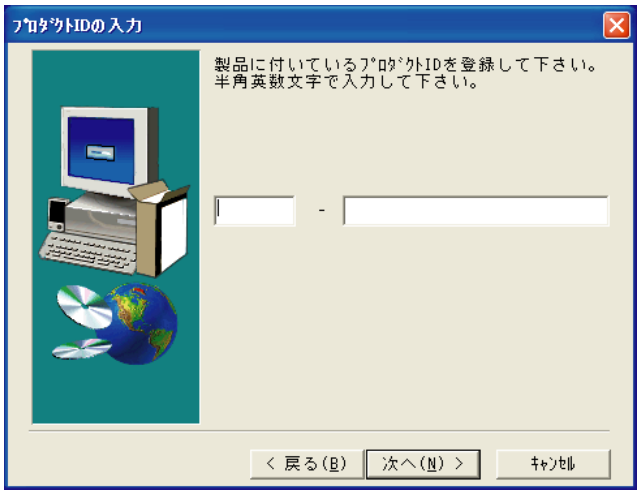
4. 名前と会社名を入力し，次へ(N)ボタンをクリックします。

次ページへ

前ページから



5. 登録された名前と会社名を確認します。正しければ[はい(Y)]ボタンをクリックします。
変更する場合は，[いいえ(N)]ボタンをクリックします。

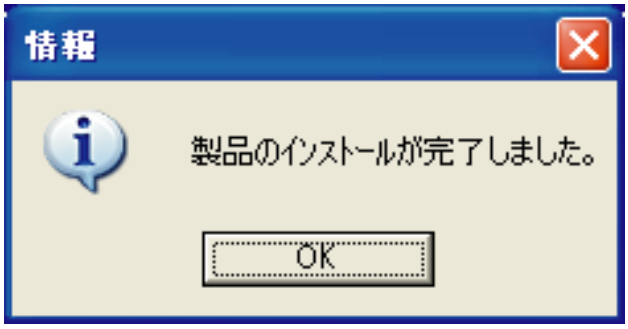


6. 製品のプロダクトIDを入力し，[次へ(N)]ボタンをクリックします。
プロダクトIDは，本製品に同梱されている「ソフトウェア使用許諾同意書」に記載されています。

7. インストール先フォルダを指定します。既定のインストール先フォルダを表示しますので，よろしければ[次へ(N)]ボタンをクリックします。
変更する場合は[参照(R)...]ボタンをクリックし，変更するドライブとフォルダを指定します。

次ページへ

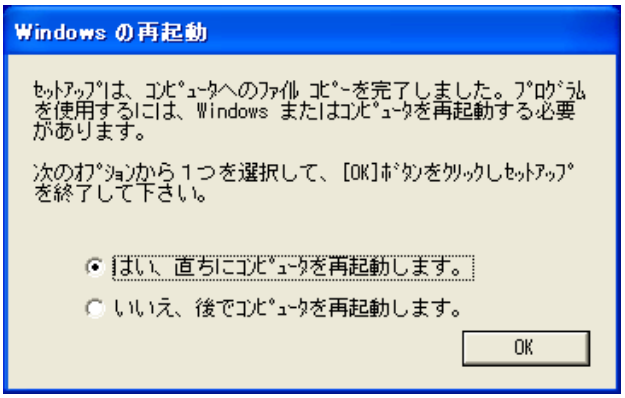
前ページから



8. 左記の画面が表示されるので，OKボタンをクリックしてください。

下記の画面が表示される場合があります。再起動する場合は，「はい，直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し，OKボタンをクリックします。後から再起動する場合は，「いいえ，後でコンピュータを再起動します。」を選択し，OKボタンをクリックします。

〈実行ツール〉(日本語)



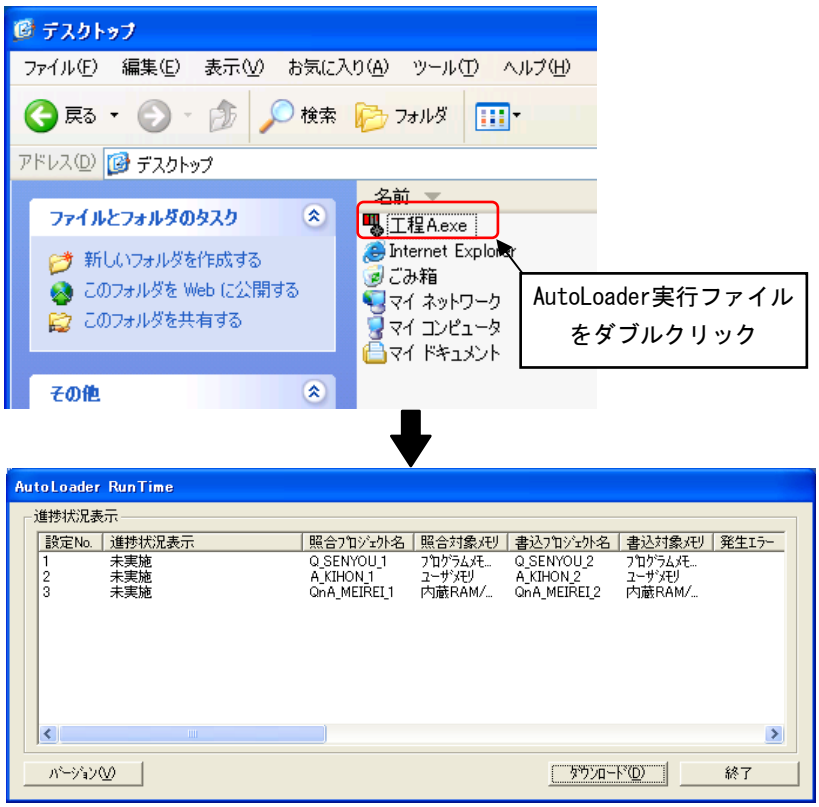
(英語)

ポイント

- インストールする際には，Administrator権限のあるユーザでインストールして下さい。Administrator権限のないユーザでは，インストールできません。
- AutoLoaderがインストール済みのパソコンに，上書きインストールを行わないでください。
- AutoLoaderがインストール済みのパソコンに，三菱電機製のMELSECボードやGX Developerをインストールすると特定の経路を使用した通信が，受信エラーやデバイス番号エラーなどになる可能性があります。これらの現象が発生した場合は，AutoLoaderをアンインストール後，再度AutoLoaderをインストールしてください。
- インストール起動時に「本パッケージが動作可能な環境になっておりません」というメッセージが表示された場合，Environment of MSW_SOFTをインストールする必要があります。CD-ROMの“¥EnvMSWS¥SETUP.EXE”を実行し，その後製品のインストールを行ってください。

3.2 アプリケーションの起動確認

本ツールの起動確認は次の手順で行ってください。

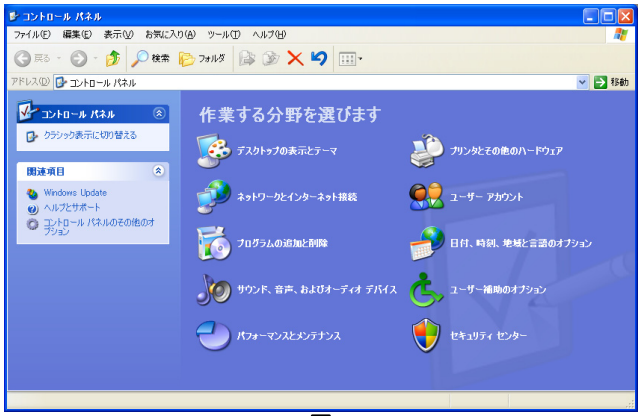


1. Windows Explorerを開き，AutoLoader設定ツールで生成した実行ファイルをダブルクリックします。

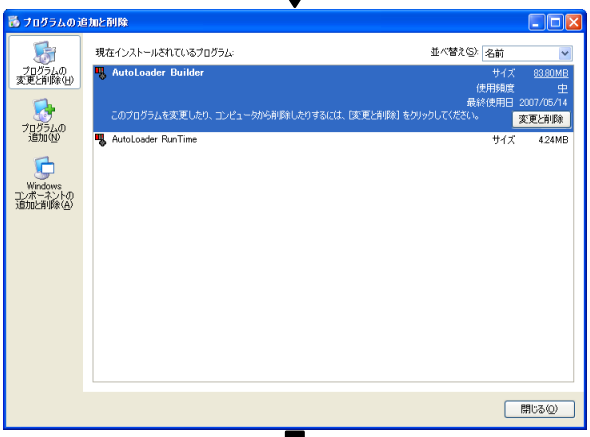
2. AutoLoader実行ツールが起動します。
左記の画面が表示されれば，正常にインストールされています。

3.3　アンインストール

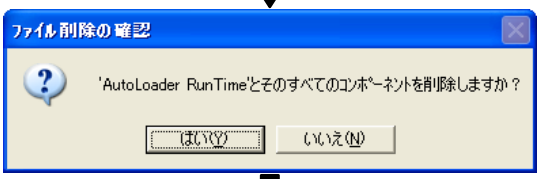
実行ツールのアンインストールは，次の手順で行ってください。



1. コントロールパネルの中から“プログラムの追加と削除”を選択してダブルクリックします。
コントロールパネルの表示は[スタート]-[すべてのプログラム]-[コントロールパネル]を選択します。
使用するOSおよびOSの設定内容により，コントロールパネルの表示方法，ボタン等の表示名称など，異なる場合があります。OSの種類，設定内容に応じて，コントロールパネルを表示してください。



2. 削除するソフトウェアパッケージ“AutoLoader Runtime”を選択します。選択後，変更と削除ボタンをクリックします。

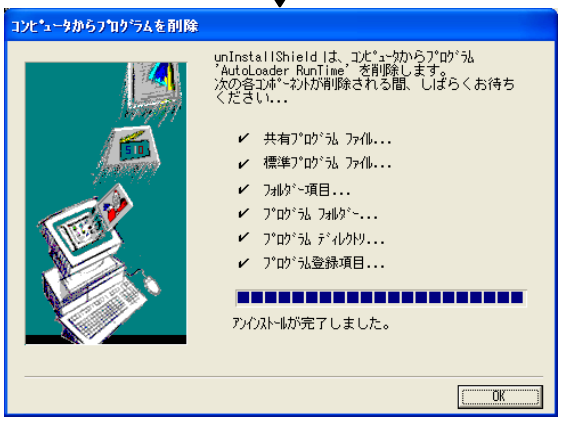


3. ソフトウェアパッケージの削除の確認をします。
アンインストールを行う場合は，はい(Y)ボタンをクリックします。
アンインストールを開始します。
実行しない場合は，いいえ(N)ボタンをクリックし，前の画面に戻ります。

＊ コンポーネントとは，インストールしたアイコンとファイルを示します。

次ページへ

前ページから



4. 削除作業が終了したメッセージが出ましたら OK をクリックします。

完了のメッセージが表示されたらアンインストール完了です。

ポイント

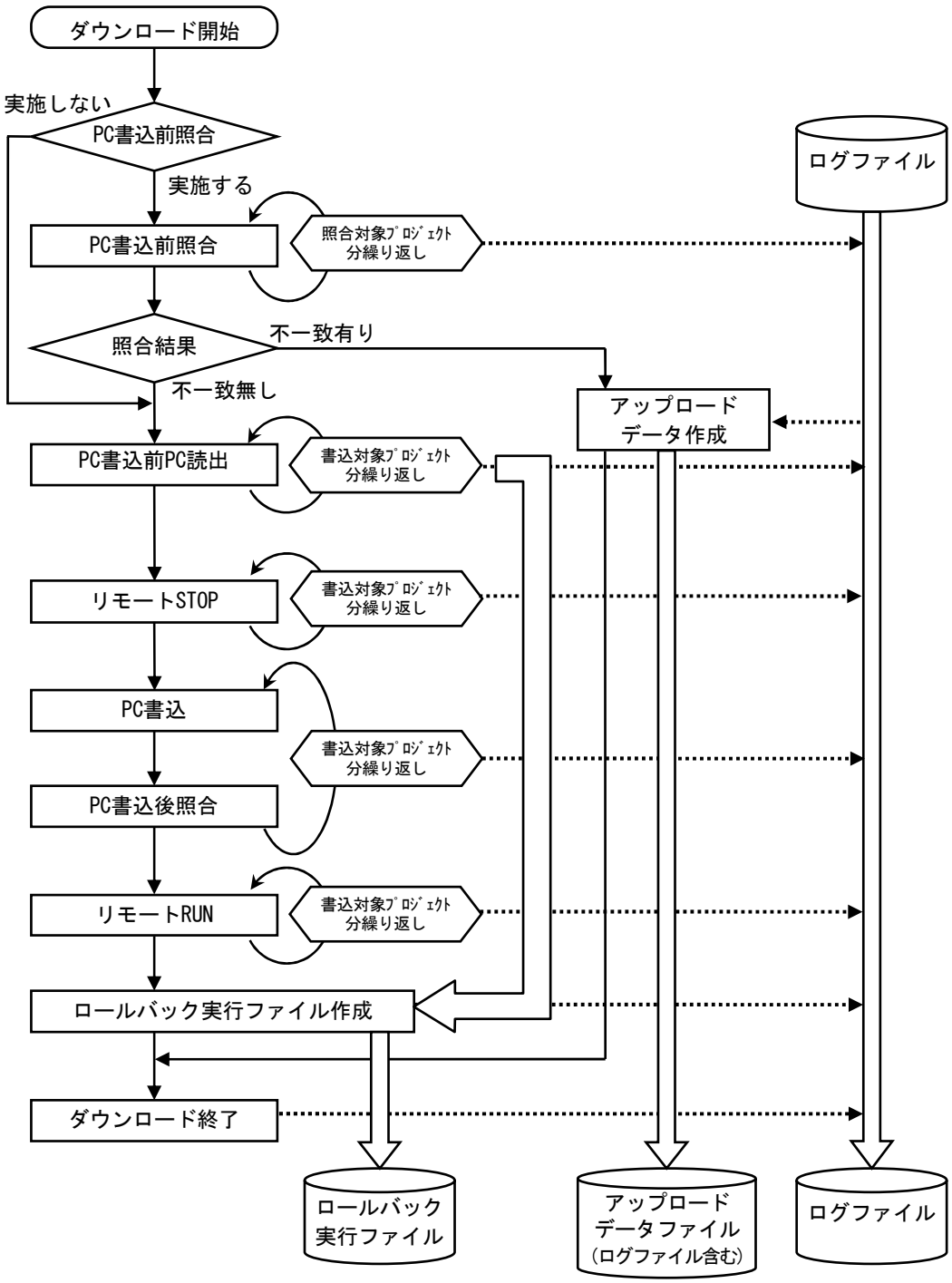
AutoLoaderをアンインストールした際に，スタートメニューに項目が残る場合は，パソコンを再起動してください。

メ　モ

4 ダウンロード

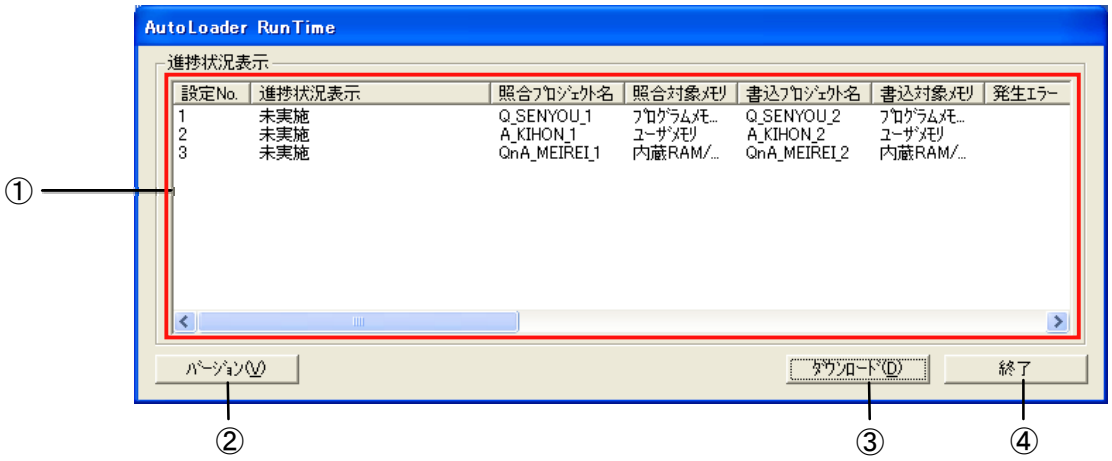
ダウンロードの実行時の処理内容および実行手順について説明します。

4.1 ダウンロードの処理フロー



4.2 メインウィンドウ

実行ファイル起動直後に表示される画面です。
ダウンロードの実行指示と処理の進捗状況の確認ができます。

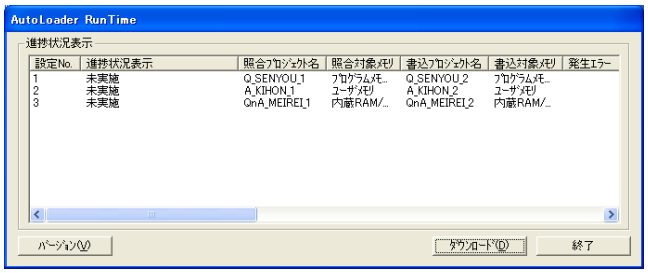


［画面説明］

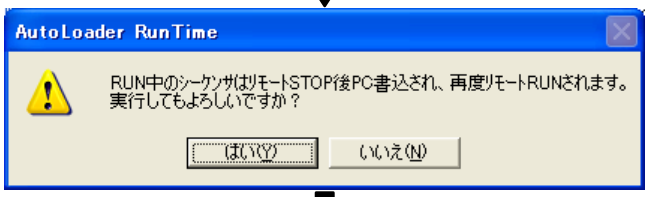
No.	名称		内容
①	進捗状況表示		実行ファイルに設定されたダウンロードの内容と進捗状況を表示します。 表示する内容は次のとおりです。
		設定No.	ダウンロードの順番を表示します。
		進捗状況	ダウンロードの進捗状態を表示します。
		照合プロジェクト名	PC書込前照合の対象となる照合プロジェクト名を表示します。
		照合対象メモリ	PC書込前照合の対象メモリを表示します。
		書込プロジェクト名	PC書込を実行する書込プロジェクト名を表示します。
		書込対象メモリ	PC書込の対象メモリを表示します。
		発生エラー	処理中に発生したエラーメッセージを表示します。 エラーメッセージが長い場合は，すべての文字を表示できない場合があります。その場合は，ログファイルを参照してください。
②	バージョン(V)		本製品情報を表示します。
③	ダウンロード(D)		ダウンロードを開始します。
④	終了		アプリケーションを終了します。

4.3 ダウンロードの実行手順

ダウンロードは，次の手順で行ってください。

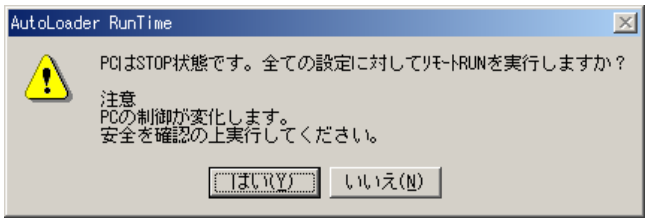


1. メインウィンドウの[ダウンロード(D)]ボタンをクリックします。

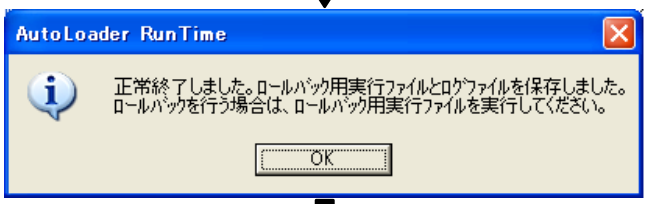


2. リモートSTOPの確認用のダイアログが表示されるので[はい(Y)]ボタンをクリックします。

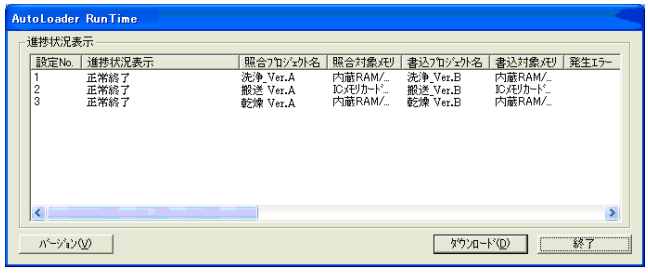
3. メインウィンドウの下に進捗バーが表示され，ダウンロードが開始されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると，ダウンロード処理を中断します。



4. PC 書込したプロジェクト内にパラメータの書込があった場合は，左図のダイアログが表示されます。リモート RUN を実行する場合は，[はい(Y)]ボタンをクリックします。パラメータを変更した場合，CPU のリセットが必要となりますので，[いいえ(N)]ボタンをクリックし，手動で CPU をリセットしてください。



5. 左図のダイアログが表示されたら，ダウンロード完了です。[OK]ボタンをクリックします。



6. 進捗状況表示が正常終了となっていることを確認して[終了]ボタンをクリックします。

ポイント

・直結接続で交信できないことがあります。交信できない場合は，CPUおよびパソコンの設定を見直してください。
Windowsのファイアウォールまたはセキュリティソフトのファイアウォール設定が有効の場合,AutoLoader実行ファイル実行時のみ無効に変更してください。ダウンロード完了後，設定を有効に戻してください。

・PC書込前照合で不一致が発生した場合は、アップロードデータを設定ツールで解凍し、プロジェクトをGX Developerで開いて実行ファイル作成時に使用したプロジェクトとプロジェクト照合して不一致箇所の詳細を確認ください。

5　ロールバック

ロールバックは，AutoLoader実行ファイルを起動してダウンロードを実行する際に，PC書込対象CPUからデータを読み出して，ダウンロードが正常に完了，PC書込エラーで終了，ダウンロード途中でキャンセル，のいずれかの状態で，読み出したデータを実行可能な「ロールバック実行ファイル」に生成する機能です。

ロールバック実行ファイルを実行すると，AutoLoader実行ファイルのPC書込によって変更されたCPU内のデータを，実行前の状態に戻すことができます。AutoLoader実行ファイルにPC照合のみを設定したCPUに対しては，復元は致しません。

ポイント

- ロールバック実行ファイルには，デバイスコメント・ファイルレジスタ範囲設定，パスワード/キーワード解除設定も保存されます。
- デバイスコメント・ファイルレジスタ範囲設定は，PC書込前にCPUに設定されていた範囲設定が保存されます。
- パスワード/キーワード解除設定は，AutoLoader実行ファイルのPC書込プロジェクトに設定した解除設定が保存されます。

5.1　ロールバック実行ファイル

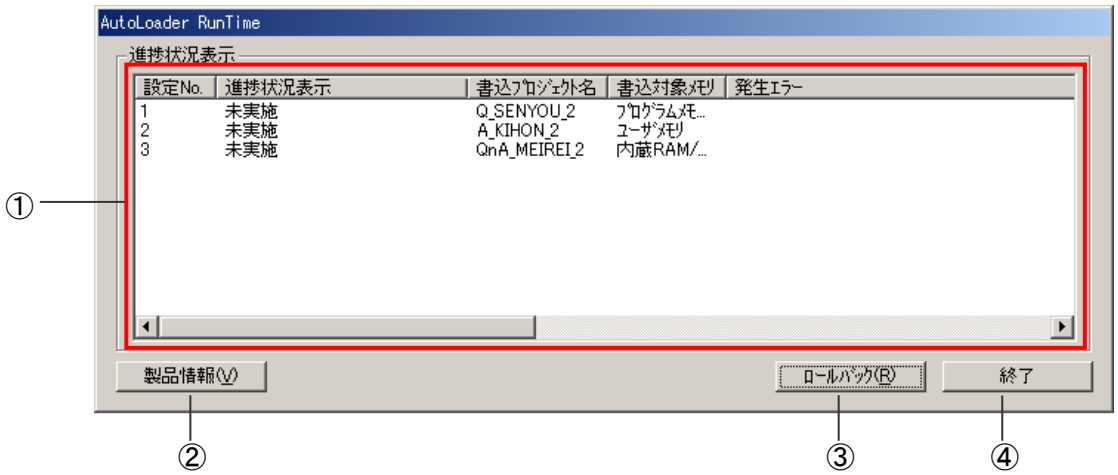
ロールバック実行ファイルは，AutoLoader実行ファイルと同じフォルダに保存されます。
同じフォルダに同名のファイルがあった場合は，上書きされます。
ロールバック実行ファイルのファイル名は次のようになります。

“実行ファイル名(拡張子を除く)_Rollback[YYMMDD-hhmmss].exe” となります。
(YY：年，MM：月，DD：日付，hh：時間，mm：分，ss：秒)

例)
実行ファイル“工程A.exe”が，2007年7月14日15時00分01秒に作成したロールバック実行ファイル名は，“工程A_Rollback[070714-150001].exe” となります。

5.2 メインウィンドウ

ロールバック実行ファイル起動直後に表示される画面です。
ロールバックの実行指示と処理の進捗状況の確認ができます。



［画面説明］

No.	名称	内容
①	進捗状況表示	ロールバック実行ファイルに設定されたロールバック(PC書込)の内容と進捗状況を表示します。表示する内容は次のとおりです。
	設定No.	ロールバック(PC書込)の順番を表示します。
	進捗状況表示	ロールバック(PC書込)の進捗状態を表示します。
	書込プロジェクト名	PC書込を実行する書込プロジェクト名を表示します。
	書込対象メモリ	PC書込の対象メモリを表示します。
	発生エラー	処理中に発生したエラーメッセージを表示します。 エラーメッセージが長い場合は，すべての文字を表示できない場合があります。その場合は，ログファイルを参照してください。
②	製品情報(V)	本製品情報を表示します。
③	ロールバック(R)	ロールバックを開始します。
④	終了	アプリケーションを終了します。

5.3 ロールバック後の状態

ロールバック後の設定は次のようになります。

設定項目	内　　容
パスワード/キーワード	変更されません。
プログラムRUN中書込 確保ステップ(QCPU，QnACPU)	ロールバック前の状態には戻らず，0になります。
コメント範囲設定	PC書込前のCPUに設定されていた範囲となります。
デバイスメモリ範囲設定	PC書込した範囲のみ元のデバイスメモリのデータに戻ります。 他はそのままとなります。
ファイルレジスタ範囲設定	PC書込前にCPUに設定されていた範囲となります。

6 アップロード

アップロードは，AutoLoader実行ファイルに設定したPC書込前照合用データとCPU内のデータとをPC照合した結果が不一致となった場合に，CPU内のデータを読み出してログファイルと共に圧縮し，「アップロードデータファイル」として保存する機能です。

アップロードデータファイルは，AutoLoader設定ツールが動作するパソコンに転送し，AutoLoader設定ツールの解凍機能で解凍することで，GX Developer形式のプロジェクトデータとログファイルへ生成できます。

6.1 アップロードデータファイル

アップロードデータファイルは，実行ファイルと同じフォルダに保存されます。
同じフォルダに同名のファイルがあった場合は，上書きされます。
アップロードデータファイルのファイル名は次のようになります。

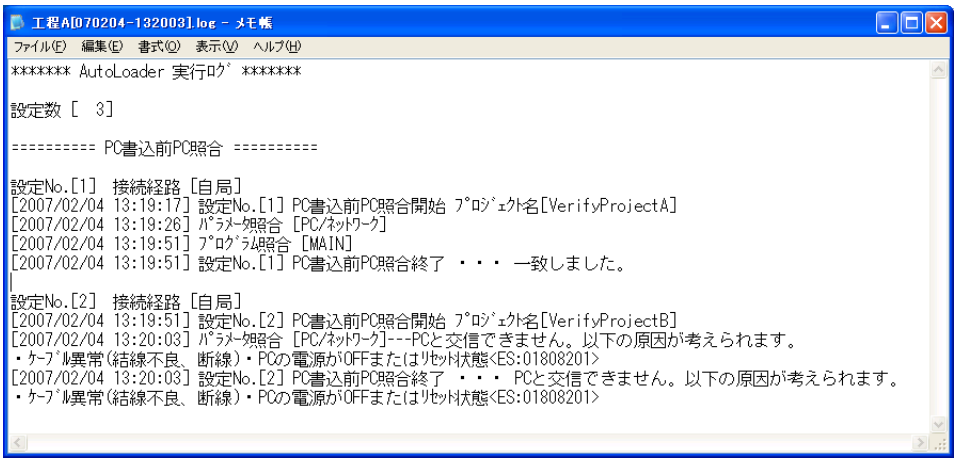
“実行ファイル名(拡張子を除く)[YYMMDD-hhmmss].dat” となります。
（YY：年，MM：月，DD：日付，hh：時間，mm：分，ss：秒。）

例）
実行ファイル“工程A.exe”を，2007年7月14日15時00分01秒 に実行すると，アップロードデータファイル名は“工程A [070714-150001].dat” となります。

メ　モ

7　ログファイル

ログファイルは，AutoLoader実行ファイルの実行結果を記録するテキストファイルです。
AutoLoader実行ファイルを実行したパソコンのAutoLoader実行ファイルと同じフォルダに保存されます。



(1)　ログファイルのファイル名

“実行ファイル名(拡張子を除く)[YYMMDD-hhmmss].log” となります。
(YY：年，MM：月，DD：日付，hh：時間，mm：分，ss：秒。)

例：実行ファイル“工程A.exe”を，2007年7月14日15時00分01秒 に実行すると，
ログファイル名は“工程A [070714-150001].log”となります。

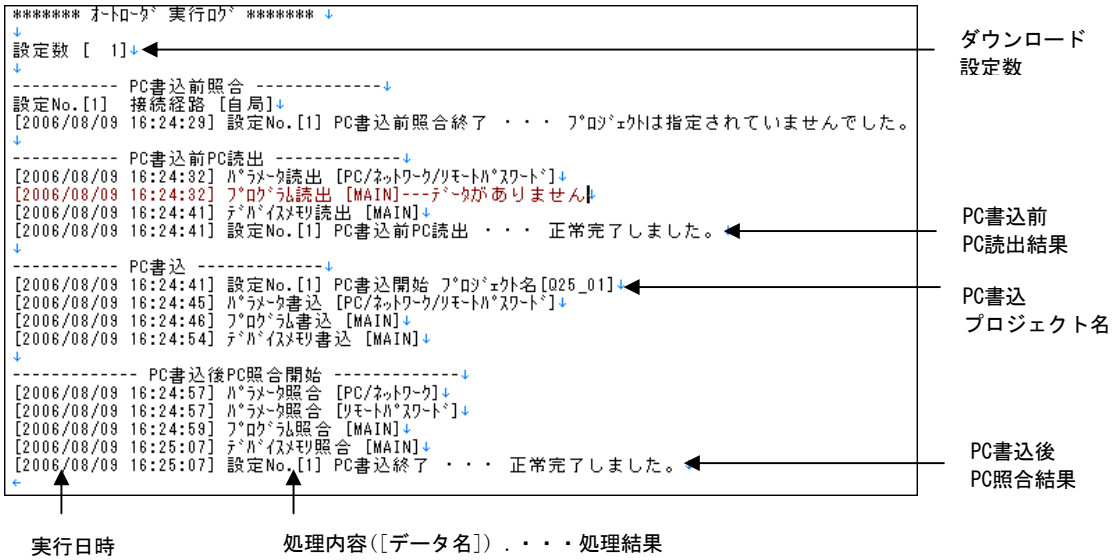
＊　同じフォルダに同名のファイルがあった場合は，上書きされます。

(2)　ログファイルの内容

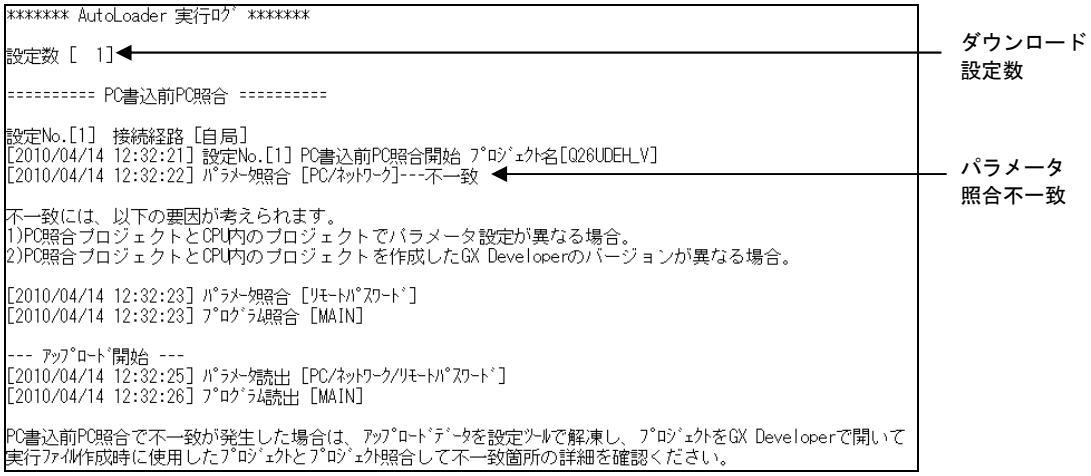
ログファイルには，実行ファイルまたはロールバック実行ファイルの実行結果が保存されます。「PC書込前照合」「PC書込前PC読出」「PC書込」等の処理フェーズごとに，実行した日時，内容，結果が記録されます。

ログファイルの出力例：

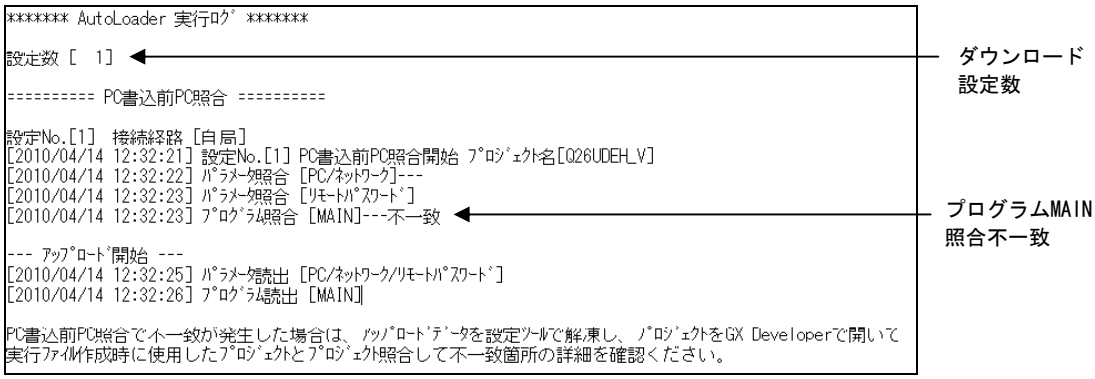
1台の CPU に PC 書込前照合を実施せずに PC 書込した場合



PC書込前照合の結果、パラメータが照合不一致となった場合



PC書込前照合の結果、プログラム(MAIN)が照合不一致となった場合



メ　モ

製　品　保　証　内　容

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、当社はお買い上げいただいた販売店を通してご返却いただき、無償で製品を修理させていただきます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後１年間とさせていただきます。
ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長６ヶ月として、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。
また修理品の無償保証期間は、修理前の保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

生産中止後の有償修理期間

(1) 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後７年間です。
　　生産中止に関しましては、販売店経由にて連絡いたします。
(2) 生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責任に帰することができない事由から生じた損害、当社の製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無に問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、お断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

三菱電機エンジニアリング株式会社
MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED

営業統括部
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5（ヒューリック九段ビル（日本地所第一ビル））
TEL（03）3288-1108　FAX（03）3288-1575

東日本営業所（関東甲信越以北担当）
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5（ヒューリック九段ビル（日本地所第一ビル））
TEL（03）3288-1743　FAX（03）3288-1575

中日本営業所（東海・北陸地区担当）
〒451-0045 名古屋市西区名駅2-27-8（名古屋プライムセントラルタワー 18F）
TEL（052）565-3435　FAX（052）541-2558

西日本営業所（近畿地区担当）
〒530-0003　大阪市北区堂島2-2-2（近鉄堂島ビル 7F）
TEL（06）6347-2985　FAX（06）6347-2983

中国営業グループ（中国・四国地区担当）
〒730-0037　広島市中区中町7-41（広島三栄ビル 7F）
TEL（082）248-5390　FAX（082）248-5391

九州営業所（九州地区担当）
〒810-0001　福岡市中央区天神4-1 -7（第3明星ビル）
TEL（092）721-2202　FAX（092）721-2109

オペレーションに関するお問い合わせは

名古屋事業所 技術サポートセンター
TEL.0568-36-2068　FAX.0568-36-2045
受付／9:00～17:00　月曜～金曜
（土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日）

開発元
三菱電機メカトロニクスソフトウエア株式会社

50EM8740-B(1004)MEE

この印刷物は2010年4月の発行です。なお，お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。　2010年4月作成